

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業
アンケート調査

報告集(岐阜大学独自編)

2016年4月

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 アンケート調査結果 (学生編)

上段：人数
下段：割合
自由記述項目は省略

学年 (単一回答)

	回答者総数	学生数 回答率	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	無 回 答
H28年度	1877 100.0	5708 32.9	715 38.1	474 25.3	349 18.6	275 14.7	32 1.7	29 1.5	3 0.2
H27年度	2039 100.0	5712 35.7	631 30.9	591 29.0	378 18.5	381 18.7	34 1.7	22 1.1	2 0.1
H26年度	2124 100.0	5719 37.1	511 24.1	464 21.8	597 28.1	484 22.8	40 1.9	26 1.2	2 0.1

問1. 岐阜大学の理念として、「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学であることを宣言し、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	わからない	無回答
H28年度	1877 100.0	1316 70.1	417 22.2	142 7.6	2 0.1
H27年度	2039 100.0	1353 66.4	521 25.6	160 7.8	5 0.2
H26年度	2124 100.0	1293 60.9	825 38.8	0 0.0	6 0.3

問2. 本学はCOC/COC+事業の実施支援機関として地域協学センターを設置し事業を展開していることを知っていますか。(複数回答可)

	回答者総数	聞いた 説明を F D	スタ ター ンを見 ポ	知らない	無回答
H28年度	1877 100.0	144 7.7	480 25.6	1266 67.4	4 0.2
H27年度	2039 100.0	124 6.1	250 12.3	1674 82.1	4 0.2
H26年度	2124 100.0	72 3.4	133 6.3	1915 90.2	6 0.3

問3. (2年生以上の方) 「岐阜学」や「地域志向科目群」など地域を学修する科目を受講したことがありますか。(単一回答)

	回答者総数	あ る	な い	無 回 答
H28年度	1159 100.0	471 40.6	588 50.7	100 8.6
H27年度	1406 100.0	360 25.6	1031 73.3	15 1.1
H26年度	1611 100.0	412 25.6	1184 73.5	15 0.9

問3. (2年生以上の方) 「岐阜学」や「地域志向科目群」など地域を学修する科目を何科目受講しましたか。(単一回答)

	回答者総数	一 科 目	二 科 目	三 科 目 以 上	無 回 答	平 均 科 目 数
H28年度	471 100.0	248 52.7	118 25.1	85 18.0	20 4.2	1.82
H27年度	360 100.0	262 72.8	54 15.0	27 7.5	17 4.7	1.43
H26年度	412 100.0	309 75.0	56 13.6	30 7.3	17 4.1	1.38

問3. (1年生の方) 地域志向科目群から2単位取得が必須となりますが、何科目ぐらい受講したいと思いますか。

	回答者総数	一科目	二科目	三科目以上	平均科目数	
H28年度	638	264	281	93	1.93	※(受講したくない7、不明70)
	100.0	41.4	44.0	14.6		
H27年度	570	200	317	53	1.93	※(受講したくない3、不明58)
	100.0	35.1	55.6	9.3		

(問3の設定で「①ある」を選択した2年生以上の方へご回答ください。)

問4. 地域志向科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は高まりましたか。(単一回答)

	回答者総数	はい	いいえ	どちらでもない	無回答
H28年度	471	285	23	140	23
	100.0	60.5	4.9	29.7	4.9
H27年度	360	242	19	97	2
	100.0	67.2	5.3	26.9	0.6

(問3の設定で「①ある」を選択した2年生以上の方へご回答ください。)

問5. 次世代地域リーダー育成プログラムの地域志向科目群等を受講した結果、岐阜県の企業や自治体等に就職しようとする、あるいは、就職したいと思うきっかけになりましたか。(単一回答)

	回答者総数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
H28年度	471	25	113	176	101	28	28
	100.0	5.3	24.0	37.4	21.4	5.9	5.9
H27年度	360	38	90	121	58	38	15
	100.0	10.6	25.0	33.6	16.1	10.6	4.2

問7. 地域協学センターでは、活動の柱として3つの事業(①次世代地域リーダー育成プログラムの展開、②多様な人々が集う対話の場(フューチャーセンター)の設置、③地域志向学プロジェクトの推進)を展開することを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	関わっている	よく知っている	少し情報がある	知らない	無回答
H28年度	1877	26	37	929	877	8
	100.0	1.4	2.0	49.5	46.7	0.4
H27年度	2039	29	39	643	1310	18
	100.0	1.4	1.9	31.5	64.2	0.9
H26年度	2124	8	27	353	1729	7
	100.0	0.4	1.3	16.6	81.4	0.3

問8. 地域協学センターが実施する対話の場(フューチャーセンター)は、地域の方、自治体の方、学生・教職員など、あらゆる立場の方がいろいろなテーマについて自由に発言できるように運営します。こうした対話の場(フューチャーセンター)に参加してみたいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	た参加してみたい	な参加したくない	言えちらない	興味はある	無回答
H28年度	1877	132	250	875	611	9
	100.0	7.0	13.3	46.6	32.6	0.5
H27年度	2039	151	282	943	648	15
	100.0	7.4	13.8	46.2	31.8	0.7
H26年度	2124	149	230	1046	688	11
	100.0	7.0	10.8	49.2	32.4	0.5

問9. 対話の場（フューチャーセンター）でどのようなことを期待しますか。（複数回答可）

	回答者総数	話を普段してろ接する人ともない	築きたい新しいネットワークを	いるのが外部から思われて	も地域のことを勉強したい	一地域が抱えている課題を一緒に考えていきたい	活学生のパワーを	開自地 わ分がど れるかた 考えたい	その他	無回答
H28年度	1877 100.0	1078 57.4	600 32.0	244 13.0	401 21.4	304 16.2	221 11.8	351 18.7	13 0.7	100 5.3
H27年度	2039 100.0	1131 55.5	629 30.8	302 14.8	453 22.2	363 17.8	243 11.9	230 11.3	11 0.5	117 5.7
H26年度	2124 100.0	1148 54.0	665 31.3	369 17.4	537 25.3	206 9.7	155 7.3	310 14.6	6 0.3	106 5.0

問10-ア. あなたは高校まで、ボランティア活動をしたことがありますか。（単一回答）

	回答者総数	あ る	な い	今 後 し た い	は す な い つ も り	無 回 答
H28年度	1877 100.0	1033 55.0	835 44.5			9 0.5
H27年度	2039 100.0	1082 53.1	737 36.1	175 8.6	26 1.3	19 0.9
H26年度	2124 100.0	1121 52.8	728 34.3	210 9.9	29 1.4	36 1.7

問10-イ. あなたは大学に入ってから、ボランティア活動をしたことがありますか。（単一回答）

	回答者総数	あ る	な い	今 後 し た い	は す な い つ も り	無 回 答
H28年度	1877 100.0	290 15.5	917 48.9	579 30.8	81 4.3	10 0.5
H27年度	2039 100.0	358 17.6	1030 50.5	521 25.6	109 5.3	21 1.0
H26年度	2124 100.0	486 22.9	991 46.7	549 25.8	60 2.8	38 1.8

問11-ア. インターンシップをしたことがありますか。（単一回答）

	回答者総数	あ る	な い	今 後 し た い	な す い つ も り は	無 回 答
H28年度	1877 100.0	258 13.7	1139 60.7	415 22.1	55 2.9	10 0.5
H27年度	2039 100.0	249 12.2	1313 64.4	389 19.1	71 3.5	17 0.8
H26年度	2124 100.0	249 11.7	1347 63.4	389 18.3	98 4.6	41 1.9

問11-イ. もしインターンシップをするとしたら、どのようなところに行きたいですか。（複数回答可）

	回答者総数	地 元 の 企 業	国 内 企 業	海 外 企 業	自 治 体	施 医 設 療 ・ 福 祉	機 関 教 育 ・ 研 究	そ の 他	無 回 答
H28年度	1877 100.0	439 23.4	658 35.1	220 11.7	162 8.6	342 18.2	379 20.2	18 1.0	83 4.4
H27年度	2039 100.0	497 24.4	633 31.0	287 14.1	168 8.2	315 15.4	419 20.5	25 1.2	128 6.3
H26年度	2124 100.0	486 22.9	566 26.6	321 15.1	153 7.2	369 17.4	412 19.4	28 1.3	174 8.2

問12. 本学が平成27年度に文部科学省「**地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)**」に採択されたことを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	1877	130	1726	21
	100.0	6.9	92.0	1.1

問13. 本学のCOCプラス事業は、COC事業を基盤とし更に「**インターンシップを核とした教育プログラムを実施し、地域の産業界ニーズにより適合した人材を育成することで、地域定着(地元就職、Uターン就職等)を推進し、地方創生に貢献する**」を目的としていることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	1877	104	1749	24
	100.0	5.5	93.2	1.3

問14. 本学のCOCプラス事業は、平成27年度から開始した「**次世代地域リーダー育成プログラム**」に、新たにインターンシップを核とした「**産業リーダーコース**」を設けたことを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	1877	131	1726	20
	100.0	7.0	92.0	1.1

問15. 就職活動前にインターンシップを経験することは重要だと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
H28年度	1877	613	993	109	9	132	21
	100.0	32.7	52.9	5.8	0.5	7.0	1.1

問16. 岐阜県内の企業のことを、もっと知りたいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
H28年度	1877	210	924	545	64	113	21
	100.0	11.2	49.2	29.0	3.4	6.0	1.1

問17. 岐阜県内の企業の説明会や見学会に参加したいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
H28年度	1877	154	856	627	74	146	20
	100.0	8.2	45.6	33.4	3.9	7.8	1.1

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 アンケート調査結果 (教員編)

上段：人数
下段：割合
自由記述項目は省

教員 (単一回答)

	回答者総数	教員数 回答率	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	応用生物科学部	各センター他	無回答
H28年度	433 100.0	875 49.5	94 21.7	46 10.6	79 18.2	87 20.1	75 17.3	50 11.5	2 0.5
H27年度	440 100.0	858 51.3	87 19.8	40 9.1	111 25.2	112 25.5	31 7.0	53 12.0	6 1.4
H26年度	322 100.0	774 41.6	67 20.8	34 10.6	64 19.9	52 16.1	64 19.9	40 12.4	1 0.3

問1. 岐阜大学の理念として、「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学であることを宣言し、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	396 91.5	37 8.5	0 0.0
H27年度	440 100.0	387 88.0	49 11.1	4 0.9
H26年度	322 100.0	298 92.5	23 7.1	1 0.3

問2. 「地域のための大学」として、あなたは地域を志向した教育・研究に取り組んでいますか。(単一回答)

	回答者総数	教育・研究それぞれにおいて	教育のみ取り組んでいる	研究のみ取り組んでいる	いいえ	無回答
H28年度	433 100.0	183 42.3	64 14.8	30 6.9	154 35.6	2 0.5
H27年度	440 100.0	169 38.4	57 13.0	43 9.8	165 37.5	6 1.4
H26年度	322 100.0	173 53.7	52 16.1	35 10.9	57 17.7	5 1.6

問2SQ. 問2で「取り組んでいる」とお答えの方は、対象としている地域をお書きください。(複数回答可)

	回答者総数	岐阜県内市町村	岐阜県外市町村	無回答
H28年度	277 100.0	239 86.3	63 22.7	28 10.1
H27年度	269 100.0	233 86.6	78 29.0	27 10.0

問3. これまで地域にかかわる活動をしたことはありますか。(複数回答可)

	回答者総数	自治体(出先機関)の審議会委員など	高出大連携などの事業	地域の共同研究又は受託研究等	市民向けの公開講座	地域から依頼を受けた講師又は指導を受けた	その他	特になし	無回答
H28年度	433 100.0	129 29.8	178 41.1	127 29.3	176 40.6	183 42.3	34 7.9	98 22.6	3 0.7
H27年度	440 100.0	150 34.1	176 40.0	149 33.9	185 42.0	225 51.1	52 11.8	82 18.6	4 0.9
H26年度	322 100.0	134 41.6	148 46.0	130 40.4	164 50.9	184 57.1	34 10.6	39 12.1	2 0.6

問4. 本学はCOC/COC+事業の実施支援機関として地域協学センターを設置し事業を展開していることを知っていますか。(複数回答可)

	回答者総数	説明(FDなど)をした	チラシやポスターを見た	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	186 43.0	230 53.1	88 20.3	1 0.2
H27年度	440 100.0	189 43.0	211 48.0	104 23.6	4 0.9
H26年度	322 100.0	133 41.3	172 53.4	53 16.5	2 0.6

問5. 地域協学センターでは、活動の柱として3つの事業(①次世代地域リーダー育成プログラムの展開、②多様な人々が集う対話の場(フューチャーセンター)の設置、③地域志向プロジェクトの推進)を展開していることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	関わっている	よく知っている	少し情報がある	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	51 11.8	68 15.7	223 51.5	90 20.8	1 0.2
H27年度	440 100.0	41 9.3	85 19.3	201 45.7	99 22.5	14 3.2
H26年度	322 100.0	18 5.6	57 17.7	162 50.3	84 26.1	1 0.3

問6. 地域協学センターが実施する対話の場(フューチャーセンター)は、地域の方、自治体の方、学生・教職員などあらゆる立場の方がいろいろなテーマについて自由に発言できるように運営します。こうした対話の場(フューチャーセンター)に参加してみたいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	参加してみたい	参加したくない	どちらとも言えない	興味はある	無回答
H28年度	433 100.0	66 15.2	63 14.5	186 43.0	115 26.6	3 0.7
H27年度	440 100.0	66 15.0	42 9.5	203 46.1	113 25.7	16 3.6
H26年度	322 100.0	63 19.6	20 6.2	145 45.0	91 28.3	3 0.9

問7. 対話の場（フューチャーセンター）でどのようなことを期待しますか。（複数回答可）

	回答者総数	話をしてみたい	普段、接することのない大学内の人とも	どの大学が外部から知られているか	大学が抱えている課題や大学が抱えている課題などを一緒に考えたい	地域や大学が抱えている課題などを一緒に考えたい	新しいネットワークを築きたい	見つけた研究課題を	地域志向の研究課題を	学生の教育に活かしたい	自分がかかわりたい	地域のために	その他	無回答
H28年度	433 100.0	125 28.9	73 16.9	137 31.6	123 28.4	98 22.6	130 30.0	120 27.7	13 3.0	59 13.6				
H27年度	440 100.0	120 27.3	90 20.5	131 29.8	100 22.7	105 23.9	121 27.5	124 28.2	22 5.0	61 13.9				
H26年度	322 100.0	100 31.1	73 22.7	127 39.4	96 29.8	95 29.5	111 34.5	93 28.9	19 5.9	30 9.3				

問8. 他大学（国公立）でも地域志向の取り組みが実施されていることを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	よく知っている	少しは知っている	ほとんど知らない	興味は知らないが	無回答
H28年度	433 100.0	55 12.7	187 43.2	169 39.0	21 4.8	1 0.2
H27年度	440 100.0	50 11.4	173 39.3	181 41.1	16 3.6	20 4.5
H26年度	322 100.0	35 10.9	139 43.2	125 38.8	19 5.9	4 1.2

問9. 本学が平成27年度に文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されたことを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	309 71.4	123 28.4	1 0.2

問10. 本学のCOCプラス事業は、COC事業を基盤とし更に「インターンシップを核とした教育プログラムを実施し、地域の産業界ニーズにより適合した人材を育成することで、地域定着（地元就職、Uターン就職等）を推進し、地方創生に貢献する」を目的としていることを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	232 53.6	199 46.0	2 0.5

問11. 本学のCOCプラス事業は、平成27年度から開始した「次世代地域リーダー育成プログラム」に、新たにインターンシップを核とした「産業リーダーコース」を設けたことを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	433 100.0	175 40.4	256 59.1	2 0.5

問12. 地元企業へのインターンシップは、学生のキャリア形成や地元定着に向けた取組みとして有効であると思いますか。（単一回答）

	回答者総数	うとでもそう思う	そう思う	いあまり思わない	思わない	わからない	無回答
H28年度	433 100.0	72 16.6	235 54.3	45 10.4	20 4.6	58 13.4	3 0.7

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 アンケート調査結果 (職員編)

区分 (単一回答)

	回答者総数	事務系職員	技術系職員	事務系補佐員	無回答
H28年度	387 100.0	224 57.9	36 9.3	122 31.5	5 1.3
職員数 回答率	583 66.4	338 66.3	64 56.3	181 67.4	
H27年度	357 100.0	184 51.5	55 15.4	111 31.1	7 2.0
職員数 回答率	590 65.5	338 54.4	67 82.0	185 60.0	
H26年度	254 100.0	139 54.7	40 15.7	71 28.0	4 1.6
職員数 回答率	585 43.4	311 44.7	78 51.3	196 36.2	

上段：人数
下段：割合
自由記述項目は省略

問1. 岐阜大学の理念として、「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学であることを宣言し、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	348 89.9	37 9.6	2 0.5
H27年度	357 100.0	309 86.6	47 13.2	1 0.3
H26年度	254 100.0	233 91.7	21 8.3	0 0.0

問2. 本学はCOC/COC+事業の実施支援機関として地域協学センターを設置し事業を展開していることを知っていますか。(複数回答可)

	回答者総数	聞いた(FDなどを)	チラシやポスターを	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	112 28.9	268 69.3	42 10.9	1 0.3
H27年度	357 100.0	101 28.3	211 59.1	77 21.6	0 0.0
H26年度	254 100.0	53 20.9	142 55.9	73 28.7	1 0.4

問3. 地域協学センターでは、活動の柱として3つの事業(①次世代地域リーダー育成プログラムの展開、②多様な人々が集う対話の場(フューチャーセンター)の設置、③地域志向学プロジェクトの推進)を展開していることを知っていますか。(単一回答)

	回答者総数	関わっている、	よく知っている	聞いた情報がある	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	17 4.4	62 16.0	231 59.7	75 19.4	2 0.5
H27年度	357 100.0	14 3.9	58 16.2	185 51.8	97 27.2	3 0.8
H26年度	254 100.0	7 2.8	22 8.7	118 46.5	107 42.1	0 0.0

問4. これまでに、地域とかかわる業務に携わったことがありますか。(教員・学生等が行っている活動への支援を含みます。)(複数回答可)

	回答者総数	学生の教育・活動の支援業務を行った	教員の研究活動の支援業務を行った	地域との連携事業の支援業務を行った	特にな	無回答
H28年度	387 100.0	46 11.9	47 12.1	87 22.5	244 63.0	1 0.3
H27年度	357 100.0	55 15.4	35 9.8	75 21.0	227 63.6	0 0.0
H26年度	254 100.0	42 16.5	25 9.8	73 28.7	149 58.7	2 0.8

問5. 今後、何かしら地域とかかわる業務に携わりたいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	継続して携わっていききたい	これから携わってみ	興味はある	考えていない	その他	無回答
H28年度	387 100.0	46 11.9	39 10.1	172 44.4	127 32.8	1 0.3	2 0.5
H27年度	357 100.0	45 12.6	37 10.4	148 41.5	124 34.7	3 0.8	0 0.0
H26年度	254 100.0	42 16.5	23 9.1	114 44.9	74 29.1	1 0.4	0 0.0

問6. 地域協学センターが実施する対話の場(フューチャーセンター)は、地域の方、自治体の方、学生・教職員などあらゆる立場の方がいろいろなテーマについて自由に発言できるように運営します。こうした対話の場(フューチャーセンター)に参加してみたいと思いますか。(単一回答)

	回答者総数	参加してみたい	参加したくない	どちらとも言えない	興味はある	無回答
H28年度	387 100.0	38 9.8	51 13.2	179 46.3	119 30.7	0 0.0
H27年度	357 100.0	37 10.4	51 14.3	142 39.8	114 31.9	13 3.6
H26年度	254 100.0	30 11.8	18 7.1	109 42.9	94 37.0	3 1.2

問7. 対話の場(フューチャーセンター)でどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

	回答者総数	普段、大学内外の人とも話をしない	大学の外部に知られていない	地域や大学が抱えている課題など一緒に考えている	新しいネットワークを築きたい	面白そう	業務に役立ちそう	その他	無回答
H28年度	387 100.0	109 28.2	126 32.6	128 33.1	70 18.1	53 13.7	41 10.6	8 2.1	44 11.4
H27年度	357 100.0	114 31.9	121 33.9	123 34.5	47 13.2	47 13.2	40 11.2	11 3.1	50 14.0
H26年度	254 100.0	78 30.7	81 31.9	86 33.9	54 21.3	38 15.0	36 14.2	9 3.5	22 8.7

問 8. 他大学（国公立）でも地域志向の取り組みが実施されていることを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	よく知っている	少しは知っている	ほとんど知らない	味よく知らないが興味はある	無回答
H28年度	387 100.0	38 9.8	166 42.9	172 44.4	11 2.8	0 0.0
H27年度	357 100.0	20 5.6	125 35.0	176 49.3	22 6.2	14 3.9
H26年度	254 100.0	12 4.7	105 41.3	113 44.5	21 8.3	3 1.2

問 9. 本学が平成 27 年度に文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されたことを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	249 64.3	138 35.7	0 0.0

問 10. 本学のCOCプラス事業は、COC事業を基盤とし更に「インターンシップを核とした教育プログラムを実施し、地域の産業界ニーズにより適合した人材を育成することで、地域定着（地元就職、Uターン就職等）を推進し、地方創生に貢献する」を目的としていることを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	170 43.9	216 55.8	1 0.3

問 11. 本学のCOCプラス事業は、平成 27 年度から開始した「次世代地域リーダー育成プログラム」に、新たにインターンシップを核とした「産業リーダーコース」を設けたことを知っていますか。（単一回答）

	回答者総数	知っている	知らない	無回答
H28年度	387 100.0	81 20.9	299 77.3	7 1.8

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 アンケート調査結果 (自治体編)

問1 これまでの岐阜大学との連携の実態についてどう感じていましたか。あわせてその理由をご記入ください。

		け 十 分 に る 連 携 関 係 が 築	築 あ る 程 度 の 連 携 関 係 が	分 や で あ る 連 携 関 係 が 不 十	あ 連 携 関 係 が 不 十 分 で	築 ま け つ て た く い な い 連 携 関 係 が	自由記述
岐阜県	H28年度	○					包括連携協定（平成20年3月締結）を踏まえ、多数の連携事業を実施してきた実績があるため。
	H27年度	○					包括連携協定（平成20年3月締結）を踏まえ、多数の連携事業を実施してきた実績があるため。
	H26年度	○					包括連携協定（平成20年3月締結）を踏まえ、多数の連携事業を実施してきた実績があるため。
岐阜市	H28年度		○				必要に応じ連携事業が進められていることから、連携関係は築けていると考えている。ただし、連携そのものの将来的な発展性についてはいまだ具体的に見えていないと感じられないため、ある程度とした。
	H27年度		○				
	H26年度		○				平成21年度から継続して岐阜大学に職員の派遣を実施している。また、同年2月に岐阜市と岐阜大学との連携に関する協定を締結し、相互の窓口を明確化し、連携の強化を図ってきている。
郡上市	H28年度		○				COC事業の実施に当たり、本市から大学に派遣した職員が事業の企画・運営等に携わり、本市と連携しながら事業実施している。
	H27年度		○				本市から大学に派遣した職員が岐阜大学のCOC事業に直接携わっていることや、事業実施に当たり市と大学が協働で実施している。
	H26年度		○				初年度であり、本格的な運用は来年度（26年度）からだと思われるが、これまでに多くの協議を重ねてきており、今後の取り組みにおける基礎はできていると判断している。
高山市	H28年度		○				平成21年に岐阜大学と連携協定を締結して以降、本市職員を大学へ派遣してきたため、派遣職員が大学と市をつなぐ窓口となっており、各種連携事業の実施にあたってきた。
	H27年度		○				平成21年4月に岐阜大学と連携協定を締結して以降、本誌職員を大学へ派遣し、派遣職員が大学と市をつなぐ窓口となっており、大学教員による出前講座や岐阜大学フェア in 飛騨高山などの各種連携事業を実施してきたため。
	H26年度		○				平成21年4月に岐阜大学と包括連携協定を締結して以降、本市職員を大学へ派遣し、派遣職員が大学と市をつなぐ窓口となっており、大学教員による出前講座や岐阜大学フェア in 飛騨高山などの連携事業を実施してきたため。

問2 岐阜大学COC事業の取組は、（副申した）事業計画どおりに進捗していると思いますか。あわせてその理由をご記入ください。

		はい	いいえ	わからない	自由記述
岐阜県	H28年度	○			COC事業実施協議会や研究成果報告会等における資料や報告内容から、現時点では事業計画どおりに実施されていると考えられるため。
	H27年度			○	シンポジウムの開催など一部の内容については、予定通りに進んでいることを承知しているが、事業計画に記載された取組みのすべてについて進捗状況を把握できていないため。
岐阜市	H28年度	○			事業計画どおりに進捗していると考えているため。
	H27年度			○	事業計画がわからない
郡上市	H28年度	○			フューチャーセンターの実施や本市をフィールドとした研究活動の実施。また、本市の民間団体等と連携した取り組みを進めている。
	H27年度	○			市内でのフューチャーセンターの実施や郡上市をフィールドとした調査研究が実施されている。
高山市	H28年度	○			COCセミナー（THE学）や学生と地域住民が対話を行うフューチャーセンターの開催、TV会議システムを活用した講義の配信などが実施されている。
	H27年度	○			フューチャーセンターの開催など予定どおり実施されている。

問3 岐阜大学COC事業の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。あわせてその理由をご記入ください。

		はい	いいえ	わからない			自由記述
岐阜県	H28年度	○					COC事業実施協議会や研究成果報告会等を通じて、事業の進捗や研究内容など、自治体への情報提供をいただいている。
	H27年度		○				円滑な連携には、大学と県の間で活発な情報交換・意見交換が必要と考えるが、現時点ではそれが十分ではない。
岐阜市	H28年度			○			FCなど具体的な取組みへのアプローチ、進め方や期待などについて、相互に若干の温度差を感じることもあるため。
	H27年度			○			岐阜市でフューチャーセンターを3回実施したにすぎず、これで円滑な連携か否かは判断できない。
郡上市	H28年度	○					本市の学官連携担当者と大学へ派遣した職員との間で緊密な連絡調整が行われており、各種事業の実施についても円滑に行っている。
	H27年度	○					市の学官連携担当者と大学へ派遣した職員との間で緊密な連携調整を行った上で各種事業を実施している。
高山市	H28年度	○					市の派遣職員が、事業の企画、調整、運営に携わっていることで、おおむね円滑に実施されていると考える。具体的な事業計画については、できるだけ早く示していただけることを望む。
	H27年度	○					市の派遣職員が、事業の企画、調整、運営に携わっていることで、おおむね円滑に実施されていると考える。

問4 岐阜大学COC事業の取組みは「地域のための大学」として満足するものですか。あわせてその理由をご記入ください。

		大いに満足	満足	不満	大いに不満		自由記述
岐阜県	H28年度		○				地域の課題解決のための取組みは計画どおりに実施されており、概ね満足できるが、現時点では、その成果が地域に還元されているとまでは言い難いため。
	H27年度						事業内容自体は、地域のための取組みとなっているが、問2で回答したとおり、取組みの進捗について把握できていないため、回答困難。
	H26年度						平成25年度の取組は、拠点となる地域協学センターの設置等大学内の体制づくりが主であったため、現時点での評価は困難。
岐阜市	H28年度		○				地域課題は一朝一夕に解決できるものではないものの、真摯な姿勢で取り組んでいたため、将来的にも引き続き発展的に取組みが進められることが期待できるため。
	H27年度			○			岐阜市でフューチャーセンターを3回実施しただけにすぎないから
	H26年度		○				取り組みの一つであるフューチャーセンターを通して、地域における課題を見える化し情報を共有することで、地域の活性化を含めた大きな原動力となると思われる。
郡上市	H28年度		○				COC事業の実施により、これまでゼミ活動など、個々に行われていた本市内での様々な取り組みについて、本市における庁内部署間の横断的な情報共有が進んだことにより、行政のほか民間団体等からの相談先として大学の位置付けが高まってきている。
	H27年度		○				これまで大学と地域との連携としては、ゼミや教授単位での絞られた地域における研究テーマに基づく取り組みが多かったが、総合的なCOC事業の実施により事業間の連携を深め、全体的なテーマで行う機会が増えたため。
	H26年度		○				本市には大学等の高等教育機関がないため、岐阜大学とCOC事業で連携することにより、大学生や大学の教職員と一緒に地域課題の解決に取り組める本事業は満足している。
高山市	H28年度			○			COC事業を通して、教員や学生が地域を訪れる機会が増えていることはありがたいと考える。しかし、未だ、一次的な事業の感がぬぐえず、議論の蓄積、発展的な継続性、まちづくりにまでつながる展開を望むものである。
	H27年度		○				COC事業の主な取り組みであるフューチャーセンターについて、課題を議論し解決策を提案することで参加者の学びや研修になっていると考えるが、実際に地域課題の解決に活かす仕組みができればありがたい。
	H26年度		○				岐阜大学COC事業の3つ柱である「次世代地域リーダー育成プログラムの展開」、「多様な人々が集う場」の設置・拡充、『地域志向学』プロジェクトの推進により、地域課題を解決する仕組みづくりや地域の活性化が図られると考えるため。

問5 岐阜大学の地（知）の拠点としての今後の取組みについて期待しますか。あわせてその理由をご記入ください。

		大いに期待する	期待する	あまり期待していない	全く期待していない	どちらとも言えない	自由記述
岐阜県	H28年度	○					COCの開始当時から約2年半が経過し、その間、組織としての推進体制が確立・強化されるとともに、各事業の実績が積みあがってきていることから、その実績が、地域の課題解決につながっていくことを期待するため。
	H27年度	○					来年度から事業を推進する組織の体制が変わるため、大学と県の連携がより密になり事業が一層推進されることが期待できる。
	H26年度	○					地域と対話する「場」の設定等が円滑に機能すれば、地域課題解決に大いに寄与するものと考えられ、また、全学生を対象とした「岐阜学」等の教育により、地域への理解と愛着をもった人材育成が期待できるため。
岐阜市	H28年度		○				地方創生の推進が期待されている一方で、その推進には行政組織のみでは限界があることから、民間企業や大学などと緊密に連携することが重要と考えられるため。
	H27年度		○				岐阜市内で唯一の国立大学法人であり、教員数も多く、専攻分野も豊富と思われるから
	H26年度		○				今後、地域の課題と大学の資源のマッチングを図ることで、課題解消を含めた地域の発展につながるものと期待している。
郡上市	H28年度	○					市内には高等学校以外的高等教育機関がないため、岐阜大学が「地」及び「知」の拠点として、本市や市内の高等学校等と連携して地域に根差した取り組みを進めることについて、地域活性化の観点から有効である。
	H27年度	○					市内には高等学校以外的高等教育機関がないため、岐阜大学が「地」及び「知」の拠点として、郡上市と連携して地域に根差した取り組みを進めることについて、地域活性化の観点から有効である。
	H26年度		○				事業期間が5年間となっており、継続した取り組みが可能であることから、一定の地域課題に対する解決策等における長期的な連携を期待している。
高山市	H28年度	○					本市では、平成28年度から新たに連携大学が利用できる拠点（サテライトキャンパス）を開設予定であり、岐阜大学においても、COC事業に取り組む中で、この拠点を活用して、講座・研修やフィールドワークなどの活動を展開していただきたいと考えている。学生が活動する姿を地域の人たちにも見てもらいながら、学生には地域に対する理解や関心を深めていただき、地元定着につながることを期待している。
	H27年度		○				会議室での議論や研修に加えて、学生が地域（外）に出かけて課題となっている現場を見学したり当事者と話をしたりなど、活動の姿が地域の人たちにも見てもらえるような取り組みも行われることを期待している。そうした活動を通じて学生が地域に対する関心や愛着を高め、将来、地域の担い手となってくれるのではないかと。
	H26年度	○					4年制大学のない本市において、地域課題の解決に対して大学が有する専門知識を活かしながら、学生など若者の視点からアプローチしてもえることは貴重な機会であると考えている。また、教員や学生が地域に入って活動することで、大学を身近な存在として感じられるとともに、地域の活性化につながることも期待される。COC事業を通して学生が地域に対する愛着や関心を高め、将来、地域を支える担い手として活躍してくれることも期待。